

地元説明会、地元代表協議会等での主な意見【幸町地区】

地元説明会及び地元代表協議会委員から出された意見や要望			分類
地元説明会	地元代表協議会	地元代表協議会委員	
・第1次の取り組みはどうなったのか。	・第1次の取り組みを踏まえた方向性の検討が必要である。	・第1次の取り組みでの論議はどうなったのか。	1【第1次の取り組みとの関連】
・教育の質の充実をどのように図るのか。	・教育環境は本当に良くなるのかの協議が必要である。 ・まずは適正配置の方向性に対する妥当性の協議が必要である。	・どこまで教育環境を充実できるのか。 ・現状で満足している保護者が多いため、前向きに考えるには現状以上になることが必要である。 ・小学校の適正配置は地域密着で安全、安心な学校づくりという視点で、中学校の適正配置は教育の質や設備の充実という視点で行ってほしい。 ・地域全体で安全面なども含めて地域と一体となった誇れる学校区にしたい。 ・協議を重ねて全員が納得できるものにした。 ・小規模、大規模それぞれのメリットを最大限発揮できる工夫が必要である。	2【学校適正配置の必要性】 適正配置の趣旨 適正配置に係る教育環境整備
・きめ細かな指導を継続してほしい。 ・増量教員の継続配置をしてほしい。 ・統合前の各学校の教員をバランス良く配置してほしい。 ・スクールカウンセラーはどのような派遣になるのか。		・小規模の場合でも子どものケアへの問題もある。学級の人数が多ければ、環境はさらに悪化するのではないか。	
・教員の負担増加が心配である。		・学級の人数が増えれば、教員の負担が増え、一人ひとりの子どもを見る余裕がなくなるのではないかと。 ・教員の多忙化を解消するために業務の整理が可能かを協議したい。	
・リニューアル時の騒音、粉塵予防の対策はどうするのか。 ・リニューアルの具体的な状況を知りたい。 ・統合する際、プレハブ校舎を使用することは避けたい。		・リニューアルの具体的な状況はどうか。	
・小学校4km、中学校6kmの根拠は何か。			
・学区と行政区とをまたぐ状況の今後の見通しはどうか。 ・中央区の児童生徒数の推移はどうなっているのか。		・中央区から通学する児童生徒の増加への対応が必要だろう。 ・千葉港のマンション、登戸小へ通う児童の安全を考えた学区の見直しが必要だろう。 ・自治会連絡協議会は青少年育成委員会とも深く結びついており、再編を伴うだろう。	3【地域との関連】 学区と地域コミュニティー等との整合 街づくり 防災 子どもルーム
・学校がなくなると風俗店等の出店の規制がなくなるのではないかと。	・地域の街づくりを見通した取り組みにした。	・団地再生、再編問題に伴い、適正配置は街づくりの観点から団地の将来図と重要に関わる。 ・将来の地域と学校適正配置との関係について考えていきたい。	
・学校が統合された場合、避難所はどうなるのか。			
・学校が統合された場合の子どもルームの設置はどうなるのか。			
・協議会委員の公募は考えないのか。	・委員公募についての考えはどうか。		4【協議の進め方】 協議の進め方 協議会委員の考え方
・協議内容を情報公開してほしい。	・協議会では各委員個人の意見と出身母体組織で集約した意見とを交えて話し合っていくことになる。それぞれの母体組織を大切にしながら協力を進めたい。 ・学校適正配置は重要な問題なので、十分に議論したい。 ・協議会では様々な意見があることを踏まえて、代表として意見を述べていきたい。協議された内容の報告は母体組織に必ず報告したい。 ・協議会での資料についての質疑応答の時間を確保したい。 ・この問題の協議は委員の総意で進めてほしい。多数決で決めることのないようにしたい。	・推測される統合校を前提とした議論への懸念があり、学区の見直しを念頭においた議論が必要、学校の立地条件や周辺環境への目配りも必要である。 ・PTA以外の意見や情報を交換するルート作りが必要である。 ・協議を重ねて全員が納得できるものにした。	
		・学区が複雑なので見直せないか。	5【適正配置の方向性】 統合校の位置 学区の設定 中学校の統合
・受験を迎える生徒たちへの対応を検討してほしい。		・統合校の位置の問題が住民感情に微妙にかかわってくる。	
		・公教育の充実と信頼回復への取り組みを議論したい。 ・私学への進学が多くなっている状況から脱却したい。 ・特別な問題事例は、学校、親、地域が問題を共有し、成果と課題を検証するシステムが必要である。	